

2021年10月1日
現勢2701名
1月当初比-19名



ホームページアドレス <https://www.dokenkodahiga.jp/>

発行所
東京土建一般労働組合
小平東村山支部
小平市仲町381番地
電話 042-342-2846
FAX 042-342-2848
発行人 川口 直明

選挙に行こう！決めるのは私たち！



東京土建の要求項目(抜粋)

- ①インボイス制度の撤回
全ての事業者に影響を与え、一人親方等零細事業者の営業を直撃するインボイス制度の即時撤回を求める。
- ②社会保障の拡充
医療・介護・年金等の社会保障を国のお責任で拡充することを求める。
- ③日本国憲法の遵守
基本的人権、生存権を保障する日本国憲法の尊重を求める。



目立つ若年層の低投票率 期日前投票の活用を

近年の選挙での世代別の投票率を見ると、若年の投票率は、直近2回の国政選挙で共に30%台半ばと、最も高い60代と比較して約半分しかありません。

選挙に投票できるのは、選挙当日だけではありません。特に20代の投票率は、過去最大28%と最も高い60代と比較して約半分しかありません。告示日から投票日まで、約2週間での期日前投票も可能です。

「面倒くさい」と敬遠せずに、自分の考え方や思いを政治に反映する数少ないチャンスと捉え、今回の総選挙でまず一步を踏み出しましょう。

昨年から続くコロナ禍は、東京土建の仲間の仕事や日々の生活を脅かし、大変大きな影響を与える続ける中、衆議院議員の任期満了による総選挙が近日中に行われます。

ワクチンを希望しながらも今もって、接種出来ていない方、陽性になつても医療崩壊によつて在宅での療養を余儀なくされている方、仕事の減少で経営難や生活苦に直面する方など、コロナは年齢や立場を選ばず多くの国民を苦しめています。

中国からコロナがやってきて以来、政府は4度にわたつて「緊急事態宣言」を発出する一方で、医療・保健体制の拡充も行わず、「GOTOキヤンペーン」の実施で感染を拡大、安全安心と言い続

たためには、医療体制の拡充、希望する方への迅速なワクチン接種の実施はえんの事業を守る支援策ももちろん、給付金の支給

や困窮者への生活支援も重点的に行わなければなりません。

中国からコロナがやってきて以来、政府は4度にわたつて「緊急事態宣言」を発出する一方で、医療・保健体制の拡充も行わず、「GOTOキヤンペーン」の実施で感染を拡大、安全安心と言い続

命と暮らしを守るのはみんなの一票

10月1日から、最低賃金が引き上げられ、東京では一〇一三→一〇四一円となりました。

10月1日から、最低賃金が引き上げられ、東京では一〇一三→一〇四一円となりました。

10月~ 最低賃金が上がっています

雇用構造の変化の影響で、非正規労働者が増加している中、政府も6月公表の骨太の方針の中、「コロナの影響で賃金格差が広がる中、格差の是正には不可欠」と明記しています。なお、全国平均では、過去最大28円引き上げられ、九三〇円となりつています。

最低賃金の引き上げは、選挙当日だけではありません。告示日から投票日まで、約2週間での期日前投票も可能です。

最低賃金の計算には、残業手当や通勤手当は含まれません、日給や月給の人も、時給で換算した金額が1041円(東京の場合)未満になると法律違反になってしまいます。

働き方別最低賃金の計算方法

◇時間給の方…時給の金額

◇日給の方…日給÷1日の所定労働時間

◇月給の方…月給÷ひと月の所定労働時間

投票率が減つて野党の議席も増えただろうか。(允)死票が減つて野党の議席も増えただろうか。(允)

新型コロナ感染症が拡大し、何度も緊急事態宣言が発出されたが、菅首相は国民の自肃生活を要請するだけの後手後手の対策で失敗した▼前政権の公文書改ざん問題等の「負の遺産」を投げ出し、総裁選が告示されたが誰が選ばれても「安倍・菅政権」を総括する機運は乏しい。国民の目線から論じてほしいものである▼メディアも総裁選ばかりを報道している。野党の情報報も知らせるべきで、コロナ禍で生活様式まで変わった国民に対するコロナ基本感染対策を早急に決定すべきである▼この後すぐに衆院選があるが、政権に不満を持っている選挙民も多数いると思う。小選挙区制度では、一票の差で当落が分かれるので野党は共闘して選挙戦を展開しないと無理だろう▼前回の衆院選で自民党が4割の得票率で7割の議席を得たことが、やりたい放題となってしまった原因でもある。小選挙区制ではメジャーな政党に有利になってしまった。今度の選挙では政治に無関心とする若者も投票に行き、投票率が6割位になれば



エジプトで会った日本人
厳しい態度には理由が

世界一周冒険日記⑨



青年部 副部長

國崎 大志

楽しい食事が一転

私も素直に思つたことを言つた。「お言葉かもしませんが完璧に準備して出発する頃には何歳になつてゐるかわかりません。旅人は横のつながり先もできない気がします。旅人は横のつながりだと思います。」

楽しい食事が一転

成田に置いてきましたので…」

この空間に耐えられなくなりました。

すぐ宿に戻った。なん

とモヤモヤする気持ちだ。宿に着くと宿のお手伝いさんに話しかけられました。「もしかしてあの男の人には何か嫌なこといわれましたか? 実はあの人の

不器用なやさしさ

数ヶ月前からこの宿に滞在しているんですけど、若い子に説教するのが好きで他の宿なんかは出入り禁止になつてゐるそう有名なんですよ。」そう言われると私は「なるほど」と頷いた。

次の日、宿にいるエジプト人に絡まれて取つ組み合いになつてると昨日来てくれた。そして昨日のことを謝罪してきた。

この空間に耐えられなくなりました。

すぐ宿に戻った。なん

とモヤモヤする気持ちだ。宿に着くと宿のお手伝いさんに話しかけられました。「もしかしてあの男の人には何か嫌なこといわれましたか? 実はあの人の

不器用なやさしさ

なぜこんなにも強く説教したのか、それには大きな理由があった。エジ

プトは世界3大ウザい国

た運営には、国庫からの補助金だけでなく、都費組合では毎年、東京都へのハガキ要請、都議員への賛同署名の申し込みを行っています。

9月17日、支部事務所にて、建設ユニオン多摩北支部と合同で、竹井ようこ都議（立憲民主）、磯山亮都議（自民）の2議員と相次いで面会しました。両名とも、今年7月の都議選で新しく都議会議員に就任し、初めての賛同署名のお願いとなり

建設国保の育成・強化を求める都議2名から賛同署名を獲得

東京土建国保の安定した運営には、国庫からの補助金だけでなく、都費組合での要請行動、地元都議への賛同署名の申入れを行っています。

9月17日、支部事務所にて、建設ユニオン多摩北支部と合同で、竹井ようこ都議（立憲民主）、磯山亮都議（自民）の2議員と相次いで面会しました。両名とも、今年7月の都議選で新しく都議会議員に就任し、初めての賛同署名のお願いとなり

ましたが、快く建設国保の建設国保への都費補助を求める都知事宛ての署名を記入していただきました。

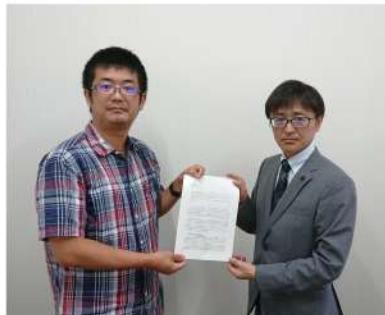
また、支部で進めていられる、アスベスト対策・イソボイス導入阻止の取り組みについても、資料を手渡し、運動への理解を求めました。

【賛同署名の内容】

- ・建設国保への都費補助は現行水準を確保すること
- ・健診、がん検査への必要な財政支援を行うこと
- ・建設国保を育成、強化すること



書記
上、竹井都議（右）
ら、署名を受け取る建設
ユニオン田沼社保対
磯山都議（右）
奥田



書記
上、竹井都議（右）
ら、署名を受け取る建設
ユニオン田沼社保対
磯山都議（右）
奥田

「健康ハイキング」を開催

コロナ禍でもできることから

小平東分会けやきの会

【小平東・板金事務・佐藤涼子さん】

9月6日の日中、小平東分会のけやきの会で「歩いて健康ハイキング」を開催しました。このコロナ禍の中「何



健康について学びながら交流を楽しんだ

この一年六か月近く、組合活動も休止「私たちはどこに向かっていけばいいのか?」と悩んでいましたが、まず動き出すことに決めたのはとても良かったと思います。当日はお屋近くになつて雨が降り出し、残念ながら途中で引き上げることになりましたが、広い野原

に入つてると言われていた。40代後半の男は私に「ほんとに気をつけろ、ちゃんと生きて帰つて見なさい。」そう言って見送ってくれた。宿を出て駅に向かう。すると路上に座つてた人たちがいきなり立ち上がり四方八方に座つてた人たちがいきなり立ち上がり四方八方に座つてた人たちがいた。これをどうやって切り抜けられる。いまさら引き返すこともできない。

早朝に支度をしていると40代後半の男は私に「ほんとに気をつけろ、ちゃんと生きて帰つて見なさい。」そう言って見送ってくれた。宿を出て駅に向かう。すると路上に座つてた人たちがいきなり立ち上がり四方八方に座つてた人たちがいた。これをどうやって切り抜けられる。私の頭の中は真っ白だった。しかし、これまだ序盤に過ぎなかつた。

でマスク着用のまま過ごしたわずかな時間が楽しく長い一日のようにも感じました。ザーザー降りの雨の中、最後は「これを一回目として、また続けていくべきましょう」という黒坂さんのあいさつで締め、解散となりました。

最新の現場・建設産業のお役立ち情報を発信!
1対1のトークルームで気軽に相談できる(非公開)

現場の情報交流
LINE公式アカウント
はじめました!

建設従事者は登録必須!
登録は簡単!
お友達になるだけで、会員登録が簡単になります。

みんなの

たいせつなもの の写真大募集!

支部厚生文化部で写真展を開催します。テーマは「たいせつなもの」応募者全員に、500円分クオカードをプレゼント。

応募にあたって

①写真をプリント、又はデータで支部まで提出し、応募用紙をご記入ください。



②応募は1名につき2枚まで、カラー・モノクロどちらでもOKです。

③応募された写真は一定期間支部に掲示します。人物が写っている場合は許可をもらってください。

④詳細についてはお問い合わせ下さい 【TEL042-342-2846】